

令和2年度

教育に関する事務の管理及び執行の  
状況の点検及び評価の結果報告書  
(令和元年度事務事業対象)

令和2年10月  
宇土市教育委員会

—目次—

I	点検・評価制度の概要	1
1	経緯	1
2	目的	
3	対象事業の選定方法	
4	学識経験者の知見の活用	
5	教育委員会としての今後の方向性	2
II	点検・評価の結果	3
	事業名一覧	4
1	学校一般経費（ICT関連経費）	5
2	一時預かり保育事業	6
3	入学準備祝金給付	7
4	花園幼稚園改築事業	8
5	特別支援教育総合推進事業	9
6	就学援助事業	10
7	地域学校協働活動推進事業 （地域学校協働活動推進員配置事業）	11
8	人材活用事業	12
9	地域学校協働活動推進事業 （放課後子供教室推進事業）	13
10	史跡宇土城跡保存整備事業	14
11	市内重要遺跡保存活用事業	15
12	小西行長関連事業	16
13	大太鼓活用事業	17
14	宇土市歴史的資料保存活用事業	18
15	図書館蔵書充実事業	19
16	給食センター施設整備事業	20
17	地域教育力活性化事業	21
III	教育委員会の活動状況	22
1	委員会議の開催状況	22
2	総合教育会議	25
3	その他の活動状況	25
	宇土市教育委員会委員名簿	26

## I 点検・評価制度の概要

### 1 経緯

平成18年12月の教育基本法の改正及び平成19年3月の中央教育審議会の答申等を踏まえ、平成19年6月に地方教育行政の組織及び運営に関する法律（以下「地教行法」という。）が改正され、平成20年4月から施行されました。

地教行法の改正目的である「教育委員会の責任体制の明確化」の一つとして、同法第26条の規定に基づき、教育委員会が毎年その権限に属する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価（以下「点検・評価」という。）を行うことが義務付けられました。

### 2 目的

教育委員会は、首長から独立した立場で、地域の学校教育、社会教育等に関する事務を担当する行政機関として、全ての都道府県及び市町村等に設置されている行政委員会です。その役割は、事務局職員を、様々な属性を持った複数の委員による合議により、指揮監督し、中立的な意思決定を行うものです。

事務の点検・評価は、地教行法第26条の規定に基づき、教育委員会が、教育に関する事務の管理及び執行状況を点検・評価することにより、効果的な教育行政の推進に資するとともに、市民への説明責任を果たすことを目的としています。

### 3 対象事業の選定方法

点検評価の対象事業は、行政の政策や施策、事務事業を有効性、効率性などの視点から一定の物差し（指標）によって客観的に評価し、事務改善や分かりやすく透明性の高い市政運営につなげていくために実施された「宇土市事務事業評価」の評価体系に準じ、教育委員会が実施した全事務事業の中から、事業費が多額にわたるもの、社会的関心が高いものなど、事業の在り方を検証する必要性が高いと判断される17事業を選定しました。

### 4 学識経験者の知見の活用

地教行法第26条第2項の規定による有識者の知見の活用については、担当課が行った点検・評価（自己評価）の結果について、学識経験者を含む4人の外部評価委員に、対象事業についてのご意見をいただきました。

#### 外部評価委員名簿

氏名	職業等	委嘱期間
田口 剛	元教師	令和元年8月5日から令和3年3月31日
伊勢 聰	放課後子供教室 コーディネーター	令和元年8月5日から令和3年3月31日
高田 勝廣	走湯公民館長	令和元年8月5日から令和3年3月31日
佐伯 誠実	市P連副会長	令和2年8月5日から令和3年3月31日

## 5 教育委員会としての今後の方向性

担当課自己評価に対する外部評価委員のご意見等を踏まえ、最終的に教育委員会としての今後の方向性を下記4つの中から選択しました。

拡充	事業規模・内容を、より拡大・充実し継続すべき事務事業
維持	おおむね現在の方向性・規模のまま継続すべき事務事業
要改善	現在の方向性を見直し、規模・手法等について改善を図るべき事務事業
廃止・完了	事業目的・活動内容等が、効率的・効果的でない事務事業、完了した事務事業

### <参考>

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抄）

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第4項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

## Ⅱ 点検・評価の結果

### 事業名一覧

	事業名	担当課
1	学校一般経費(ICT関連経費)	学校教育課
2	一時預かり保育事業	学校教育課
3	入学準備祝金給付	学校教育課
4	花園幼稚園改築事業	学校教育課
5	特別支援教育総合推進事業	学校教育課
6	就学援助事業	学校教育課
7	地域学校協働活動推進事業 (地域学校協働活動推進員配置事業)	生涯活動推進課
8	人材活用事業	生涯活動推進課
9	地域学校協働活動推進事業 (放課後子供教室推進事業)	生涯活動推進課
10	史跡宇土城跡保存整備事業	文化課
11	市内重要遺跡保存活用事業	文化課
12	小西行長関連事業	文化課
13	大太鼓活用事業	文化課
14	宇土市歴史の資料保存活用事業	文化課
15	図書館蔵書充実事業	図書館
16	給食センター施設整備事業	給食センター
17	地域教育力活性化事業	中央公民館

令和2年度 宇土市教育委員会事務事業点検・評価シート

事業名	学校一般経費(ICT関連経費)	担当課	学校教育課
事業目的	情報活用能力、コミュニケーション能力、プレゼンテーション能力といった社会で生きるために必要な力を高める手段として、ICTは今日の教育的課題を解決するために必要なものである。また、ICTの活用により、教員の指導力の向上につながり、教育活動の質の向上につながることを目的とする。		
事業内容	教育委員会では、パソコン教室のインターネット接続に始まり、教育イントラネットの整備、学校のICT環境整備を積極的に推進する。これまで教務用については、タブレット端末の一部導入、無線LAN環境整備を行ってきた。また、校務用についてはシンクライアント環境を整備した。		
元年度の進捗状況	小学校7校の無線LAN環境を更新し、併せて、令和2年度から令和6年度までの小中学校10校のICT環境の運用・保守に係る契約の更新を行った。契約に当たっては教務用と校務用の契約を統合し、問合せ窓口の一本化など運用・保守対応の効率化を図った。また、小学校7校に対しタブレット端末280台を購入し、加えて令和2年度から運用している小中学校用の学習支援ソフトの導入準備を行った。		
課題・問題点	令和2年度はGIGAスクール構想により急速にICT環境の整備が進む。これまでの約8倍の端末が導入され、校内全域に無線LAN環境が整備されることにより、教育活動でのICTの積極的な活用と、それに伴うトラブル対応の急増が懸念される。		
予算額・決算額	R1 予算額 65,476 千円	R1 決算額 65,258 千円	
担当課 自己評価	これまで取り組んできた無線LAN環境の整備や児童生徒用のタブレット端末の導入は、GIGAスクール構想により令和2年度に完了する見込みである。今後は、整備したICT環境の活用が重要であり、ソフト面の充実を図っていきたい。		
(外部評価委員からいただいたご意見)			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報教育等の環境整備、運用・保守には多額の経費を必要とする。高い費用対効果を期待する。</li> <li>・これからの社会生活はICT技術を普通に使いこなせないと普通に生きていけないと考える。予算額を見ると増えているので、この流れを続けてほしい。</li> <li>・ICT環境の充実はとても重要で、早急にソフト面も充実してほしい。</li> </ul>			
(ご意見を踏まえた今後の方向性)			
令和2年度に学校ネットワークの無線環境整備及び児童生徒1人当たり1台のタブレット端末整備が完了する見込みであり、活用方法の検討を重ね、児童生徒のみではなく教員への研修も実施し、より良いICT教育の実現へ向けて取り組む。また、必要なソフトの精査や保守にかかるコストについても随時最善の方法について検討していく。			
教育委員会としての今後の方向性	<div style="text-align: center;"> <span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">拡 充</span> ・ 維 持 ・ 要 改 善 ・ 廃 止         </div>		

※評価判定

拡 充 … 事業規模・内容を、より拡大・充実し継続すべき事務事業

維 持 … 概ね現在の方向性・規模のまま継続すべき事務事業

要改善 … 現在の方向性を見直し、規模・手法等について改善を図るべき事務事業

廃 止 … 事業目的・活動内容等が、効率的・効果的でない事務事業

令和2年度 宇土市教育委員会事務事業点検・評価シート

事業名	一時預かり保育事業	担当課	学校教育課
事業目的	共働き世帯の増加に伴うニーズに応え、家庭において保育を受けることが一時的に困難になった幼稚園児を預かることで、保護者の子育てを支援することを目的とする。		
事業内容	保護者の就労形態の多様化等により、家庭における保育が一時的に困難となる状況が増えており、幼稚園児に対して一時預かり保育が必要とされている。そこで、平成27年度から市内公立幼稚園に通う園児を対象に、一時預かり保育を市内公立幼稚園において開始した。園児数が年々減少しており、実施時間を、令和2年度から、午前7時30分から午前9時まで及び午後3時から午後6時まで、また、長期休業中は午前7時30分から午後6時までに拡充し、園児増加を図っている。また、令和元年10月から無償化が始まり、2号認定を受けた子どもについては、預かり保育料無料(上限あり)となっている。		
元年度の進捗状況	幼稚園児一時預かり保育の一日平均利用園児数は、12人であった。また、年間利用人数は、宇土幼稚園が58人、花園幼稚園が42人の合計100人であった。宇土幼稚園が20人、花園幼稚園が21人の計41人が2号認定を受け、10月からの2号認定児の一日平均利用人数は9人であった。		
課題・問題点	令和2年度から、実施時間の拡充を行ったが、園児数は減少傾向のままである。また、預かり保育を担当する非常勤職員の人員確保が難しい状況である。		
予算額・決算額	R1予算額 6,704千円	R1決算額 6,100千円	
担当課自己評価	令和2年度から実施時間を延長し、園児増加を図っているところである。推移を見守りつつ、園児増加に繋がるよう、引き続き、積極的にPR等行なっていきたい。		
(外部評価委員からいただいたご意見)			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・園児数の減少と非常勤職員の人員確保対応等苦心されていることでしょうか。</li> <li>・共働き家庭のニーズは増加すると思う。他の保育園、例えば網津保育園や網田保育園からのニーズはないか。</li> <li>・この3年程で幼稚園も預かり保育時間が拡大され、仕事の内容によっては預けながらの復職もしやすくなったと聞けが、日程の変更の際に書類書き直し等手間がかかる等あり大変だとの声もある。職員配置等あるからなのか、保育園の預かりより手間がかかるようだ。</li> <li>・保護者の子育て支援に資するための幼稚園の取組は、大切と考える。保護者の声に耳を傾けながら実施してほしい。</li> </ul>			
(ご意見を踏まえた今後の方向性)			
現状の様々なニーズに対し、時間延長を開始したが、今後もニーズに対応した見直し等を図り、利用しやすい事業を目指したい。また、幼稚園で預かり保育の時間が長いのは本市のみであるため、PRを行い、児童の確保に努めたい。課題としては職員の確保が困難であり、先を見据えて人員確保に努めたい。			
教育委員会としての今後の方向性	拡 充 ・ 維 持 ・ 要 改 善 ・ 廃 止		

※評価判定

拡 充 … 事業規模・内容を、より拡大・充実し継続すべき事務事業

維 持 … 概ね現在の方向性・規模のまま継続すべき事務事業

要改善 … 現在の方向性を見直し、規模・手法等について改善を図るべき事務事業

廃 止 … 事業目的・活動内容等が、効率的・効果的でない事務事業



令和2年度 宇土市教育委員会事務事業点検・評価シート

事業名	入学準備祝金給付	担当課	学校教育課
事業目的	向上心の高揚を図り社会的有用の人材を育成するため		
事業内容	低所得世帯の学力優秀な生徒が高等学校及び大学等に入学する準備金として、高等学校入学の世帯に1人5万円、大学等入学の世帯に1人10万円を給付する。		
元年度の進捗状況	高等学校程度において5万円/人の支給を行った。14人の募集のうち、9人が対象になり、計45万円支給した。 短大・専修学校(専門課程)・大学において10万円/人の支給を行った。6人の募集のうち、6人が対象になり、計60万円支給した。		
課題・問題点	令和2年度から国による支援対象者が拡大されることに伴い、対象者をより支援が必要な者に限定した。入学準備祝金給付の財源は寄附金であり、財源の確保が懸念される。		
予算額・決算額	R1予算額 1,263 千円	R1決算額 1,210 千円	
担当課自己評価	低所得者に対するの事業であり、保護者の負担が減る。誰でも平等に学ぶ機会を与える制度である。		
(外部評価委員からいただいたご意見)			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・低所得世帯で学力優秀な生徒への祝い金の給付はとても良いことだと思う。特に昨今の状況では。</li> <li>・財源確保の手立はあるのか。</li> <li>・R1年度選考に漏れた5名はどのような理由からか。</li> <li>・維持してほしい。</li> </ul>			
(ご意見を踏まえた今後の方向性)			
<p>高校の修学支援拡充に合わせ、大学についても就学支援(無償化)が拡充されたため、真に支援が必要な方へ確実に支給できるよう見直しを行った。財源については寄附金で賄っており、安定していないため、寄附について周知を行い確保に努めたい。また、所得がある場合や、成績が基準を超えていない場合でも申請があるため、啓発を継続して行っていく。</p>			
教育委員会としての今後の方向性	拡充 ・ <u>維持</u> ・ 要改善 ・ 廃止		

※評価判定

- 拡 充 … 事業規模・内容を、より拡大・充実し継続すべき事務事業
- 維 持 … 概ね現在の方向性・規模のまま継続すべき事務事業
- 要改善 … 現在の方向性を見直し、規模・手法等について改善を図るべき事務事業
- 廃 止 … 事業目的・活動内容等が、効率的・効果的でない事務事業

令和2年度 宇土市教育委員会事務事業点検・評価シート

事業名	花園幼稚園改築事業	担当課	学校教育課
事業目的	花園幼稚園園舎の耐震診断を行ったところ、構造耐震指標のIs値が0.03という結果となり、再度震度6～7クラスの地震が発生した場合、倒壊する危険性が高いとの結果となったため、安全な園舎環境を整備するため園舎改築を行う。		
事業内容	花園幼稚園園舎は昭和45年に建設されたものである。平成28年の熊本地震では大きな被害がなかったものの、平成29年度に行った耐震診断の結果、再度震度6～7クラスの地震が発生した場合、倒壊する危険性が高いと判断された。 このことにより、平成30年度に仮設園舎を建設、新園舎の設計を行い、令和元年度には旧園舎の解体及び新園舎の建設を行ったものである。		
元年度の進捗状況	平成30年度 設計 令和元年度 旧園舎解体 " 新園舎建設(令和2年3月完成)  建設内容(屋内):職員室, 遊戯室, 保育室3(可動式間仕切りで4室), 特別支援室1, 一時預り室1等 (屋外):プール, 屋外物置2, 遊具, 屋外整備等		
課題・問題点	旧園舎の解体を行う際、振動等は発生するため隣接住宅に十分注意する必要がある。 また、新園舎を建設する際は、同敷地内の仮設園舎で保育活動を行っているため、安全管理に十分注意する必要がある。		
予算額・決算額	R1予算額 441,662千円	R1決算額	352,736千円
担当課 自己評価	旧園舎を解体する際は、事前に隣接住宅の建物調査を行い、トラブル等なく完了することができた。 また、新園舎を建設する際は、仮園舎等で安全対策を十分行い、事故等なく完了することができた。 新園舎完成後は適正な維持管理に努めていきたい。		
(外部評価委員からいただいたご意見)			
・花園幼稚園の教育がより充実していくことを期待する。			
(ご意見を踏まえた今後の方向性)			
令和2年度から新園舎にて運用しており、新園舎を活用し幼児教育の充実を図っていく。			
教育委員会としての今後の方向性	拡 充 ・ 維 持 ・ 要 改 善 ・ 廃 止, 完了		

※評価判定

- 拡 充 … 事業規模・内容を、より拡大・充実し継続すべき事務事業
- 維 持 … 概ね現在の方向性・規模のまま継続すべき事務事業
- 要改善 … 現在の方向性を見直し、規模・手法等について改善を図るべき事務事業
- 廃 止 … 事業目的・活動内容等が、効率的・効果的でない事務事業

令和2年度 宇土市教育委員会事務事業点検・評価シート

事業名	特別支援教育総合推進事業	担当課	学校教育課
事業目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・発達障がいを含む障がいのある生徒や特別な配慮を必要とする児童生徒に対して、一人一人の教育的ニーズに応じた相談を行い、自立にむけて支援するもの。</li> <li>・就学に関する悩みを抱える保護者向けに相談を行い、適切な就学につなげるもの。</li> <li>・各中学校区(地域)において周囲の理解を促し、関係機関との連携を充実させるため、特別支援教育コーディネーター会議を実施したり、特別支援学校など専門性の高い教諭の指導を受けたりすることで、より一層の特別支援教育の推進を図るもの。</li> </ul>		
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・発達について悩みを持つ就学前児童及び小中学校児童生徒を持つ保護者を対象とした教育相談</li> <li>・大規模校への合理的配慮協力員の配置により、特別支援学級や通級指導教室の円滑な運営及び保護者対応</li> <li>・市内小中学校特別支援学級への巡回相談(特別支援学校教諭等)</li> <li>・特別支援連携協議会及び各中学校区コーディネーター会議の開催により、地域への特別支援教育の現状と課題の発信や幼保小中連携による現状と課題の共有などの実施</li> </ul>		
元年度の進捗状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育相談員の派遣により発達障がいを含む障がいのある生徒や特別な配慮を必要とする児童生徒に対し、一人一人の特性に応じたきめ細やかな教育支援が図られた。</li> <li>・就学相談及び教育相談を実施することで、就学前から中学校に至るまでの切れ目のない支援を行うことができ、スムーズな就学につなげることができた。また、子育てに悩みを抱える保護者の負担軽減にもつながった。</li> <li>・各中学校区で学校、保育園、幼稚園などが一堂に会し、会議や研修を行うことにより、地域が抱える課題を共有することで、子どもたちの就学支援につながる取組ができ、特別支援教育の推進を図ることができた。</li> </ul>		
課題・問題点	<p>年々特別支援教育に対する関心が高まっていることもあってか、各小中学校や就学中及び就学前の子を持つ保護者から教育相談員による相談を受けたいとの問合せが増えている。その要望に応えるための人員の確保及び予算の確保が今後の課題である。問題点については、教育相談員や合理的配慮協力員の配置が大規模校に偏りがちな点である。</p>		
予算額・決算額	R1 予算額 5,580千円	R1 決算額	4,960千円
担当課 自己評価	<p>県への市特別支援教育の現状報告を行った際に、心理士の人数や教育相談はじめとした特別支援教育における体制について、他市に比べ本市は充実しているとの評価をいただいた。よって、今後も教育相談体制の充実や福祉等との連携の強化を図っていくこととしている。</p>		
(外部評価委員からいただいたご意見)			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・障がいのある児童生徒等に対する特別な支援・教育は是非継続していただきたい。</li> <li>・ニーズが増えていく事業だと考えます。教育相談員及び合理的配慮協力員のマンパワーの充実に努めてほしい。</li> <li>・特別支援教育について、学校、保育園、幼稚園が一堂に研修を行える場があるのは安心する。</li> <li>・合理的配慮協力員について教えてほしい。</li> <li>・今後もさらに充実していく必要がある。</li> </ul>			
(ご意見を踏まえた今後の方向性)			
<p>特別支援教育に対する様々なニーズが年々高まっている背景を踏まえ、学校、保護者及び小中学校児童生徒の個々のニーズに応じた特別支援教育の充実を図っていく。</p>			
教育委員会としての今後の方向性	<p>拡 充 ・ 維 持 ・ 要 改 善 ・ 廃 止</p>		

※評価判定

拡 充 … 事業規模・内容を、より拡大・充実し継続すべき事務事業

維 持 … 概ね現在の方向性・規模のまま継続すべき事務事業

要改善 … 現在の方向性を見直し、規模・手法等について改善を図るべき事務事業

廃 止 … 事業目的・活動内容等が、効率的・効果的でない事務事業

令和2年度 宇土市教育委員会事務事業点検・評価シート

事業名	就学援助事業	担当課	学校教育課
事業目的	経済的な理由により就学が困難と認められる児童生徒の保護者に対して、学用品費、修学旅行費、給食費、医療費等の一部を援助するもの。		
事業内容	交付税の措置があるが、基本的に市単独事業である。 4月認定をはじめ、年間を通して随時申請受付を行い、認定している。認定要件は、令和2年度現在で11項目あり、主に、市町村民税が非課税である者、国民年金掛金が減免された者、児童扶養手当の支給を受けている者、生活保護基準額の1.3倍未満の収入であり教育長が必要と認める者の占める割合が多い。 認定後、対象者に対し、学用品費等の支給を年3回行っている。		
元年度の進捗状況	平成28年度～平成30年度の支給対象者数(準要保護者数)の推移は、H28が464人、H29が532人、H30が547人となっており、増加傾向にある。		
課題・問題点	少子化に伴う児童生徒数の減少は、年々顕著になっているが、ライフスタイルの変化や昨今の経済状況等の変化により就学援助受給者数は緩やかではあるが増加傾向にあり、継続した予算の確保が必要である。また、学校との連携はもちろん市HP等でも周知を図り、必要な時に必要な支援が届くよう運営していく必要がある。		
予算額・決算額	R1 予算額 49,893千円	R1 決算額	39,846 千円
担当課 自己評価	新型コロナウイルス感染症による影響など、自然現象や社会現象による景気の悪化により、認定者数の変動がある。経済的に困難な家庭の状況が、子の学習や生活態度などの状況に大きな影響を与え得ること念頭に、学校と連携しながら、確実な援助を行っていく。		
(外部評価委員からいただいたご意見)			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭の経済的状況等によって、教育の格差があってはならない。</li> <li>・今後もさらに充実していく必要がある。</li> </ul>			
(ご意見を踏まえた今後の方向性)			
昨今の急激な経済状況の変化等が要因で、経済的に就学が困難な児童生徒及びその保護者については、支援を続けていく必要があると考えており、御意見をいただいたように教育の格差を招かぬよう今後も確実な支援を実施していく。			
教育委員会としての今後の方向性	拡 充 ・ <u>維 持</u> ・ 要 改 善 ・ 廃 止		

※評価判定

- 拡 充 … 事業規模・内容を、より拡大・充実し継続すべき事務事業
- 維 持 … 概ね現在の方向性・規模のまま継続すべき事務事業
- 要改善 … 現在の方向性を見直し、規模・手法等について改善を図るべき事務事業
- 廃 止 … 事業目的・活動内容等が、効率的・効果的でない事務事業

令和2年度 宇土市教育委員会事務事業点検・評価シート

事業名	地域学校協働活動推進事業 (地域学校協働活動推進員配置事業)	担当課	生涯活動推進課
事業目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校、家庭、地域が一体となって子どもを育てる体制の構築</li> <li>・地域の活性化や学校を核とした地域づくり</li> <li>・地域住民(学校支援ボランティア)の知識や経験を生かす場の提供</li> <li>・教員が子どもと向き合う時間の確保</li> </ul>		
事業内容	<p>鶴城中学校区及び住吉中学校区内の小中学校(2中学校6小学校)を対象に、地域住民から学校支援ボランティアを募り、環境美化・読み聞かせ・通学路の安全指導・学習支援などのボランティア活動を実施する。</p> <p>また、市内7地区に地域学校協働活動推進員を配置し、学校からの要請に応じてボランティア活動を行うことで、学校・家庭・地域が一体となって児童生徒を支援していくものである。</p>		
元年度の進捗状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ボランティア養成講座(全3回)</li> <li>・地域協議会開催(全2回)</li> <li>・体験学習(43回)、校内環境整備支援(6回)、安全見守り活動(年間)、学習支援(丸付け支援)(年間)、道徳講話(1回)、読み聞かせ支援(年間)</li> </ul>		
課題・問題点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本事業のさらなる啓発と情報発信</li> <li>・学校支援ボランティアの確保</li> <li>・コミュニティ・スクールとの連携</li> </ul>		
予算額・決算額	R1 予算額 528千円	R1 決算額	239千円
担当課 自己評価	<p>学校支援ボランティア(地域住民)の知識、経験を生かす場の確保により、地域の活性化に繋げる契機となってきている。</p> <p>学校支援ボランティアの事業に取り組む姿勢が、子供たちの心に届き、ボランティアの心を育むのに役立っている。</p> <p>今後も、コミュニティ・スクールと連携を取りながら、更なる活動の充実を目指すとともに、地域ボランティアの確保に努めたい。</p>		
(外部評価委員からいただいたご意見)			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・予算と決算の推移を見ると不用額が多いように感じる。事業の実施方法等工夫が必要ではないか。検討してほしい。</li> <li>・コロナ禍から新しいライフスタイルへ変わっている。学校支援の形も従来よりもっとソーシャルディスタンスを視野に入れた活動を模索できればいいと思う。例えば、文通やリモート対話等</li> <li>・学校・家庭・地域が一体となって子どもの教育の充実を目指すことはとても重要である。ボランティアの充実とともに、研修体制が必要と思われる。</li> </ul>			
(ご意見を踏まえた今後の方向性)			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・現在、少数参加型で3密を避け、活動を行っているが、それも難しく昨年より活動回数を減らさざるを得ない状況である。特に、農業体験などは、現場で実際に触れてみないと分からない部分もあり、今後、ソーシャルディスタンスを視野に入れた活動を検討していく。</li> <li>・年3回ボランティア向けに養成講座を企画し、ボランティアの知識や技術向上と地域でボランティアに興味のある方の発掘を行い、ボランティアの充実に向けていく。また、地域学校協働活動推進員の資質向上のため、年2回研修会を実施していく。</li> </ul>			
教育委員会としての今後の方向性	<p>拡 充 ・ 維 持 ・ 要 改 善 ・ 廃 止</p>		

※評価判定

拡 充 … 事業規模・内容を、より拡大・充実し継続すべき事務事業

維 持 … 概ね現在の方向性・規模のまま継続すべき事務事業

要改善 … 現在の方向性を見直し、規模・手法等について改善を図るべき事務事業

廃 止 … 事業目的・活動内容等が、効率的・効果的でない事務事業

令和2年度 宇土市教育委員会事務事業点検・評価シート

事業名	人材活用事業	担当課	生涯活動推進課
事業目的	様々な知識や技術を持つ地域の方を募り、教育現場や団体、地域に派遣し、伝統・文化の継承や世代間の交流等を行うことによって、地域の教育力の向上と生涯学習活動の推進を図る。		
事業内容	生け花や絵手紙・昔遊び・太鼓演奏・着付けといった伝統文化分野を中心とし、市民から要望のある分野での専門知識を持つ方へ指導を依頼。宇土市小中学校や各地区公民館など、数多くの公共施設へ指導者を派遣し、世代間交流などを図る。		
元年度の進捗状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指導者登録件数(講師26人, 補助講師36人, 団体11団体)</li> <li>・申請件数25件, 派遣実施日37日, 派遣指導者延べ153人, 利用者延べ1, 663人</li> <li>・広報やホームページでの指導者・利用の募集</li> <li>・令和元年度の実績をまとめ、冊子を作成</li> </ul>		
課題・問題点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民の方へのより一層の事業を周知</li> <li>・伝統芸能分野を中心とした登録指導者の高齢化による後継者等の確保</li> </ul>		
予算額・決算額	R1 予算額 209千円	R1 決算額	120千円
担当課自己評価	専門性(知識・技術)をもった指導者との触れ合いや世代間の交流により、学習活動も充実し、双方から建設的な声をいただいている。今後も地域教育力の向上と生涯学習の推進を図るため、重要な事業の一つと捉えている。		
(外部評価委員からいただいたご意見)			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・文化活動、芸能活動等の伝統文化を広く、長く継承発展させるために児童生徒の年間を通した文化系活動などを設けてはどうか(運動系部活はあるが)。</li> <li>・小中学校や各地区公民館での利用が多くなってほしい。</li> <li>・学校で年度計画を作成する前に前年度実績冊子を学校長・教頭先生に地域学校協働活動推進員が届けたらどうか。</li> <li>・今後も充実が望まれる。地域教育力の向上に大いに寄与してもらいたい。</li> </ul>			
(ご意見を踏まえた今後の方向性)			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・様々な人の利用を想定しており、現状では部活動のような利用は難しいが、文化系活動の構築に向けた環境づくりも教育委員会として推進していく必要があると考える。</li> <li>・年度末(3月末)に事業報告書を作成するため、学校で年度計画を作成されるまでに届けることは難しいと考える。</li> <li>・本事業を充実したものとするため、今後も周知・啓発活動に努めるとともに、年1回研修会を開催し、指導者の人材育成・地域教育力の向上に努めていきたい。</li> </ul>			
教育委員会としての今後の方向性	拡 充 ・ 維 持 ・ 要 改 善 ・ 廃 止		

※評価判定

拡 充 … 事業規模・内容を、より拡大・充実し継続すべき事務事業

維 持 … 概ね現在の方向性・規模のまま継続すべき事務事業

要改善 … 現在の方向性を見直し、規模・手法等について改善を図るべき事務事業

廃 止 … 事業目的・活動内容等が、効率的・効果的でない事務事業

令和2年度 宇土市教育委員会事務事業点検・評価シート

事業名	地域学校協働活動推進事業 (放課後子供教室推進事業)	担当課	生涯活動推進課
事業目的	放課後や週末等に小学校の余裕教室等を活用して、子どもたちの安全・安心な活動拠点(居場所)を設け、地域の方々の参画を得て、子どもたちとともに勉強やスポーツ・文化活動、地域住民との交流活動等の取組を実施することにより、子どもたちが地域社会の中で、心豊かで健やかに育まれる環境づくりを推進する。		
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・週2回(水曜日と金曜日)実施。水曜日は学習支援員による学びタイム(ドリル学習など)、金曜日は地域の方々と共に活動するふるさとタイム(スポーツや伝承あそびなど)</li> <li>・事業運営委員会(年2回)及びスタッフ会議(学期ごと)の開催</li> <li>・教育委員会ALTとの交流や、県派遣のボランティアの活用</li> </ul>		
元年度の進捗状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・網田小学校を対象に、全校児童113人のうち11人が参加(8月末で1年生1人退会)</li> <li>※1年生2人, 2年生7人, 3年生2人</li> <li>・実施回数全55回(学びタイム25回, ふるさとタイム28回, 中止2回)</li> </ul>		
課題・問題点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の主体的な活動を円滑に実施するための協働活動支援員(コーディネーター)や学習支援員・協働活動サポーター等の育成と確保</li> <li>・参加児童が減少傾向にある</li> <li>・魅力ある事業プログラムの開発, 創造</li> <li>・放課後児童クラブとの円滑な連携</li> </ul>		
予算額・決算額	R1 予算額 632千円	R1 決算額	332千円
担当課自己評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学びタイムでは、集中力も持続し、学ぶ意欲が向上してきたり、子どもたちが教え合う・学び合う姿もみられるようになった。</li> <li>・学期や季節に応じたふるさとタイムでは、活動ボランティアの方々の創意工夫した活動により、子どもたちはどの活動も毎回楽しみにしており、達成感を味わうことができた。</li> <li>・今後、地域人材の活用を行う等充実した内容の提供と、ボランティアがより一層かかわっていただけるよう支援していきたい。</li> </ul>		
(外部評価委員からいただいたご意見)			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・予算と決算の推移を見ると不用額が多いように感じる。事業の実施方法等工夫が必要ではないか。検討してほしい。地域学校協働活動推進事業も同様。</li> <li>・とても楽しそうな活動で保護者としては子供に参加させたい。習い事が多様化し、放課後のスポーツ活動等も個人になっているので、参加できない曜日があると申込みがしづらいつと感じた。</li> <li>・学校・家庭・地域が一体となって子どもの教育の充実を目指すことはとても重要である。ボランティアの充実とともに、研修体制が必要と思われる。</li> </ul>			
(ご意見を踏まえた今後の方向性)			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域学校協働活動推進事業に関する研修会(年2回)や、県庁である研修にコーディネーターと担当職員が参加し、資質向上に努めていく。</li> <li>・今後、参加できる曜日だけの参加ができるように検討していく。</li> </ul>			
教育委員会としての今後の方向性	拡 充 ・ 維 持 ・ 要 改 善 ・ 廃 止		

※評価判定

拡 充 … 事業規模・内容を、より拡大・充実し継続すべき事務事業

維 持 … 概ね現在の方向性・規模のまま継続すべき事務事業

要改善 … 現在の方向性を見直し、規模・手法等について改善を図るべき事務事業

廃 止 … 事業目的・活動内容等が、効率的・効果的でない事務事業

令和2年度 宇土市教育委員会事務事業点検・評価シート

事業名	史跡宇土城跡保存整備事業	担当課	文化課
事業目的	史跡宇土城跡は、中世城跡としては県内で最初に国指定史跡となった貴重な文化財であり、恒久的に保存するため適切な維持管理を行うとともに、発掘調査の成果に基づいた整備を実施し、多くの市民の憩いの場や野外博物館的な施設として生涯学習等の拠点とする。加えて、体験発掘やキャッスルウォーキングといった市民参加型のイベントを通じ、重要な地域資源としての認知度を向上させ、まちづくりの拠点としても活用することを目的とする。		
事業内容	保存整備工事を昭和56年度から着手。整備のための発掘調査を平成2年度(4次調査)から実施している。城跡東側の西岡神宮北側地区(第1ブロック)及び城の中心をなす千畳敷及び周辺地区(第2ブロック)は、平成18年度までに保存整備を終了し、史跡公園として市民に公開している。また、19年度から三城及び周辺地区(第3ブロック)の保存整備に着手し、一部復元工事を除き25年度までに整備をおおむね完了した。その後、長期計画に位置付けられる貝塚地区・空堀地区(第4・5ブロック)の発掘調査に着手し、調査成果を反映した整備工事を計画している。 なお、本事業は国庫補助金を得て実施している(補助率50%〔災害復旧は70%〕。事業費10,000千円を超える場合は、県の嵩上げ補助5%)。		
元年度の進捗状況	平成28年度から実施している熊本地震や豪雨災害による土砂崩れの災害復旧関連業務が中心となった。令和元年度については、平成30年度に引き続き三城北側の災害復旧工事を実施し、当該年度をもって熊本地震関連の災害復旧工事を完了した。		
課題・問題点	平成28年度以降、熊本地震や豪雨災害による被災地点の災害復旧関連業務を優先的に進めたため、整備に関する計画が大幅に遅れることとなった。令和元年度に復旧工事を完了したことから、令和2年度から整備事業の再開を計画している。 事業の課題としては、史跡指定面積101,613.24㎡のうち、民有地5,762㎡(5.67%)の公有化が実現できていない。史跡整備を予定している範囲にも含まれているので、今後、公有化に向けた取組を行う必要がある。活用については、宇土城跡の本質的価値について広く情報発信し、市民の理解と関心を更に高めるとともに、地域の宝として利活用されるような取組を行う必要がある。		
予算額・決算額	R1予算額 80,558千円	R1決算額 70,778千円	
担当課自己評価	災害復旧工事後は、平成25年度から着手した第5ブロックの横堀跡の発掘調査を本格的に再開し、その成果を史跡宇土城跡保存整備検討委員会の指導助言を受けて整備工事に反映させる予定である。今後、第3ブロックにおける城門跡の復元や、第4・第5ブロックの保存整備工事に着手する等、宇土城跡に対する市民の関心をより一層高め、地域資源として積極的に活用されるような取組を進めたい。		
(外部評価委員からいただいたご意見)			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・「地域の宝として利活用されるような取組」とはどのようなものか。</li> <li>・予算の範囲で計画的に充実してほしい。</li> </ul>			
(ご意見を踏まえた今後の方向性)			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・宇土城跡の発掘調査を再開し、遺構の性格や時期等の解明に努めるとともに、その成果を反映した整備を進める。</li> <li>・城郭遺構を適切に保護し、次世代へ継承するため、宇土城跡の本質的価値について継続的に情報発信し、「宇土の宝」として市民の理解と関心を高める取組を積極的に行う。</li> </ul>			
教育委員会としての今後の方向性	拡 充 ・ 維 持 ・ 要 改 善 ・ 廃 止		

※評価判定

拡 充 … 事業規模・内容を、より拡大・充実し継続すべき事務事業

維 持 … 概ね現在の方向性・規模のまま継続すべき事務事業

要改善 … 現在の方向性を見直し、規模・手法等について改善を図るべき事務事業

廃 止 … 事業目的・活動内容等が、効率的・効果的でない事務事業



令和2年度 宇土市教育委員会事務事業点検・評価シート

事業名	市内重要遺跡保存活用事業	担当課	文化課
事業目的	<p>宇土市には、国指定3件・国登録1件・県指定9件・市指定107件の計120件の指定・登録文化財がある。これらの文化財や現時点で指定されていない遺跡のなかには、国・県指定クラスの重要遺跡が存在する。これら重要遺跡を後世に継承していくため適切に管理・保存するとともに、市民に対して調査成果を広く公開する等、積極的な活用が求められている。</p> <p>このことから、市内遺跡の分布調査や発掘調査、出土遺物整理等を実施することにより、国・県指定に向けた様々な要件を整理するとともに、保存計画等を策定して遺跡の活用や恒久的な保存を図る。</p>		
事業内容	<p>周知の埋蔵文化財包蔵地における開発行為の把握に努め、必要に応じて試掘・確認調査を実施している。また、重要遺跡である轟貝塚について、国史跡指定に向けた基礎資料収集のための発掘調査等を実施する。その他、各重要遺跡の保存・活用について、今後の保存活用等の方針を検討する宇土市重要遺跡保存活用検討委員会を開催する(年2回程度)。</p> <p>なお、本事業は国庫補助金を得て実施している(補助率50%)。</p>		
元年度の進捗状況	<p>周知の埋蔵文化財包蔵地における開発行為の把握に努め、必要に応じ試掘・確認調査を実施した(計5件)。</p> <p>轟貝塚の国史跡指定に向けた発掘調査報告書を刊行するため、出土遺物の整理作業を行った。また、宇土市重要遺跡保存活用検討委員会を1回開催し、各分野の専門知識を有する委員から今後の事業の進め方等について指導・助言をいただいた。</p>		
課題・問題点	<p>現在、轟貝塚について国史跡指定を目指して調査や資料整理を進めているが、轟貝塚と同様に史跡指定による保護・活用が必要な曾畑貝塚等については、轟貝塚に関する取組を優先的に進めているため現在着手できていない。今後、可能な限り早期に事業を推進することが求められる。</p> <p>また、平成28年の豪雨災害で被災した市指定史跡・天神山古墳についても早期の災害復旧が必要である。</p>		
予算額・決算額	R1予算額 3,778千円	R1決算額	3,527千円
担当課 自己評価	<p>国史跡指定を目指している轟貝塚・曾畑貝塚等について、文化庁や有識者の指導・助言のもと、今後も発掘調査をはじめとした各種調査を継続して実施する必要がある。うち、轟貝塚に関しては、これまでの調査成果を盛り込んだ発掘調査報告書を令和2年度に刊行する予定であり、これをもって国史跡指定の根拠資料としたい。</p>		
(外部評価委員からいただいたご意見)			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・国からの補助を受けながら継続してほしい。</li> <li>・予算の範囲で計画的に充実してほしい。</li> </ul>			
(ご意見を踏まえた今後の方向性)			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・轟貝塚については、発掘調査の成果と明治以降の調査研究の歴史を総括的にまとめた報告書の刊行と並行して、国や県、検討委員会の指導助言を得ながら国史跡指定に向けた準備を進める。</li> <li>・曾畑貝塚や天神山古墳については、今後必要な調査等を詳細に検討したうえで計画的に実施する。併せて、学術的価値を市民に広く発信するとともに、保存計画等を策定して恒久的な保存と効果的な活用を目指す。</li> </ul>			
教育委員会としての今後の方向性	<p>拡 充 ・ <b>維 持</b> ・ 要 改 善 ・ 廃 止</p>		

※評価判定

- 拡 充 … 事業規模・内容を、より拡大・充実し継続すべき事務事業
- 維 持 … 概ね現在の方向性・規模のまま継続すべき事務事業
- 要改善 … 現在の方向性を見直し、規模・手法等について改善を図るべき事務事業
- 廃 止 … 事業目的・活動内容等が、効率的・効果的でない事務事業

令和2年度 宇土市教育委員会事務事業点検・評価シート

事業名	小西行長関連事業	担当課	文化課
事業目的	城下町宇土の基礎を築いた宇土城主・小西行長の人物像や国内外での活躍・功績を再評価することによって、史料の掘り起しや新たな地域資源を生み出し、地域の活性化並びに観光の振興を図る。具体的には、小西行長に関連した研究を発表する講演会を継続して開催し、小西行長への理解を一般の方へ深めていただく。また、史料調査を行い、最新の研究成果を「うと学研究」に掲載する等、小西行長の研究拠点として広く情報を発信する。		
事業内容	小西行長に関する最新研究成果を発表する「よみがえる小西行長公」講演会を開催するとともに、小西行長に関する史料の掘り起こし及び調査を行う。また、過去に開催した「よみがえる小西行長公」講演会の講演録を刊行する。		
元年度の進捗状況	「よみがえる小西行長公」講演会第17弾(9月21日, 聴講者84人)を開催した。令和2年3月21日に予定していた第18弾講演会は新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止した。		
課題・問題点	講演会参加者数が微減傾向にあるため、新規参加者を増やす工夫や積極的な情報発信を行う必要がある。また、これまで計25回以上開催してきていることから、テーマ設定が難しくなっているため、参加者のニーズに沿った幅広いテーマの講演会を企画する必要がある。 本事業開始以降、全国的に著名な戦国武将・小西行長の研究拠点となるべく事業を継続してきたが、そうなるためには全国に散在する小西行長関連資料の情報集積が不可欠である。今後は、資料調査に係る予算の確保も課題となる。 このような講演会に限らず、本市の歴史遺産に関する取組が観光振興等、他方面に上手くリンクすることができるよう更に工夫する必要がある。		
予算額・決算額	R1予算額 172千円	R1決算額 91千円	
担当課 自己評価	本講演会は、令和元年度までに計25回開催し、毎回県内外から100人前後の参加があり、宇土市を代表する歴史イベントとして定着しているため、今後も継続して開催することが望ましいと思われる。 また、小西行長関連講演会の参加者から講演録の刊行要望が多く、また途中から講演会に参加された方からも過去の講演会のことが知りたいとの要望が寄せられていることから、小西行長顕彰事業の重要な情報発信ツールとして、令和元年度には平成25・26年度に開催した講演録『再検証 小西行長』(第4集)を刊行し、全国の研究者や歴史愛好家から注文をいただいている。		
(外部評価委員からいただいたご意見)			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・観光振興にうまくリンクするよう工夫してほしい。</li> <li>・予算の範囲で計画的に充実してほしい。</li> <li>・行長講演会はさらに充実してほしい。</li> </ul>			
(ご意見を踏まえた今後の方向性)			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・アンケート等を通じて講演会参加者のニーズを把握し、更に魅力あるテーマを設定して充実した講演会とする。また、講演録『再検証 小西行長』を継続的に刊行する。</li> <li>・小西行長に関して、市広報やデジタルミュージアム等を活用した周知に努め、市民・県民への積極的な情報発信を行う。</li> <li>・近世宇土城跡等の行長ゆかりの地をめぐるツアー等、観光関係部局と連携した取組について検討する。</li> </ul>			
教育委員会としての今後の方向性	拡 充 ・ 維 持 ・ 要 改 善 ・ 廃 止		

※評価判定

拡 充 … 事業規模・内容を、より拡大・充実し継続すべき事務事業

維 持 … 概ね現在の方向性・規模のまま継続すべき事務事業

要改善 … 現在の方向性を見直し、規模・手法等について改善を図るべき事務事業

廃 止 … 事業目的・活動内容等が、効率的・効果的でない事務事業

令和2年度 宇土市教育委員会事務事業点検・評価シート

事業名	大太鼓活用事業	担当課	文化課
事業目的	宇土市には、江戸時代から明治時代にかけて製作された国指定有形民俗文化財の雨乞い大太鼓が多数現存している。本事業は、これらの雨乞い大太鼓を活用して、文化振興や産業振興等を図ることを目的としている。		
事業内容	「宇土大太鼓フェスティバル」開催助成(補助金)及び関連業務等の支援を行う。また、宇土雨乞い大太鼓保存会青年部(宇土天響太鼓)の協力を得て、「太鼓教室」を開催し、大太鼓フェスティバルや地蔵まつり等で成果を発表する。		
元年度の進捗状況	<p>「第34回宇土大太鼓フェスティバル」(令和元年8月3日)は、出演団体有志による本町通りのパレードから始まり、各地区保存会や保育園、高校、太鼓団体等18団体が出演した。太鼓教室の成果発表については、太鼓フェスティバルと8月24日の地蔵まつりで演奏を披露した。</p> <p>また、令和2年1月19日開催の「第4回地域伝統芸能祭」(於:宇土市民会館)に宇土天響太鼓(宇土大太鼓保存会青年部)が出演した。</p> <p>平成31年3月に、宇土市が大太鼓等の管理団体として文化庁から指定を受けており、修繕等の手続に関する体制が整った。</p>		
課題・問題点	<p>大太鼓フェスティバルについては、例年8月に野外(市運動公園)で開催していたが、ここ数年の猛暑による参加者の熱中症などが心配されることから、令和2年度は初めて秋(10/31)に開催することになった(新型コロナウイルス感染症の影響により中止決定)。</p> <p>また、大太鼓収蔵館には空調設備がないことから大太鼓等の資料の温湿度管理ができていないため、令和2年度に国庫補助金を活用して整備を行う予定である。</p>		
予算額・決算額	R1予算額 1,431千円	R1決算額	1,375千円
担当課自己評価	<p>「宇土の雨乞い大太鼓」が国重要有形民俗文化財に指定されたことから、市民の太鼓に対する興味・関心がこれまで以上に高まっている。今後も大太鼓フェスティバルや各地区保存会活動等の支援を継続するとともに、太鼓教室も毎回好評であり、継続して実施していきたい。また、これらの取組を市のホームページやフェイスブック等で積極的に発信し、宇土が誇る太鼓文化の普及啓発に努めたい。</p>		
(外部評価委員からいただいたご意見)			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・国庫補助金は採択されたのか。</li> <li>・太鼓文化を宇土の宝として今後拡充してほしい。</li> <li>・市民が学ぶ場をさらに充実してほしい。</li> </ul>			
(ご意見を踏まえた今後の方向性)			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・文化庁の国庫補助金を活用し、大太鼓の保存に重要な温湿度管理を行うための空調設備を整備する。その後、防火・防犯設備の整備を進め、大太鼓を適切に保存管理するための体制強化を図る。</li> <li>・宇土の太鼓団体や宇土の文化を考える市民の会等の実行委員会が毎年実施している「地域伝統芸能祭」等の取組と連携し、宇土が誇る太鼓文化の振興や情報発信に積極的に取り組む。</li> </ul>			
教育委員会としての今後の方向性	拡充 ・ 維持 ・ 要改善 ・ 廃止		

※評価判定

拡 充 … 事業規模・内容を、より拡大・充実し継続すべき事務事業

維 持 … 概ね現在の方向性・規模のまま継続すべき事務事業

要改善 … 現在の方向性を見直し、規模・手法等について改善を図るべき事務事業

廃 止 … 事業目的・活動内容等が、効率的・効果的でない事務事業

令和2年度 宇土市教育委員会事務事業点検・評価シート

事業名	宇土市歴史的資料保存活用事業	担当課	文化課
事業目的	宇土市史編纂事業等で収集した歴史的・文化的価値を有する資料を、市民が気軽に利活用できるための環境整備を行うとともに、市民の方々が宇土の歴史・文化により一層興味を持っていただけるよう、これらの資料の持つ価値をPRし、地域活動等につなげていくための事業を実施する。		
事業内容	市史編纂事業で収集した歴史的価値を有する膨大な資料を適切に保存・整理するとともに、郷土資料の収集を積極的に行う。また、収集した資料を専門の見地から調査・研究し、「うと学資料室」等において、市民向けに広く公開し、活用の推進を図る。		
元年度の進捗状況	市民から歴史資料や芸術作品等の寄贈を受け入れた(計3件4点)。また、本市の歴史研究の成果をまとめた『うと学研究』(第41号)の刊行や「うと学資料室」の利用相談(毎月第2・第4火曜日の午後)、古文書入門講座を開催した(計10回、延べ参加者数215人)。利用相談や古文書入門講座については、利用者・参加者から継続を望む声が寄せられている。 また、本市の歴史や文化財の情報を発信するWEBサイト「宇土市デジタルミュージアム」の内容更新を積極的に行った。 これらの取組について、宇土市歴史的資料保存活用事業運営委員会で報告し、専門の見地から意見をいただいた(11月15日・3月30日)。		
課題・問題点	市史編纂事業等で収集した未整理の歴史的資料が多く残されている。できるだけ早く整理作業を進め、より多くの資料を公開できる環境を整える必要がある。 保存期間が終了した行政文書のうち、歴史的に見て特に重要なもの、将来にわたり残すべきものを歴史的な文書として選別し、保管している。これらの歴史的な文書は、現段階では非公開となっているが、将来的には公開・非公開基準を策定し、広く市民に公開できる体制・環境を整える必要がある。 一方、資料を適切に収蔵・保管する施設が本市には少ないため、新庁舎建設後の教育委員会庁舎の活用検討事業を含め、将来的な空き施設の確保や現行の収蔵環境改善に取り組む必要がある。		
予算額・決算額	R1予算額 3,954千円	R1決算額	3,043千円
担当課 自己評価	平成26年度に開設した「うと学資料室」については、今後も教育委員会の所蔵資料を中心に公開対象資料を増やし、利便性を向上させる必要がある。 これまで各種講座等を開催し、「うと学資料室」の利用促進及び歴史的資料の活用を図っている。毎回多くの方に参加していただいているが、「市民が自ら学ぶ場」を提供するとともに、幅広いニーズに対応するため、今後も継続して開催する必要がある。		
(外部評価委員からいただいたご意見)			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・歴史的資料の保存は大切だと思う。</li> <li>・市民が学ぶ場をさらに充実してほしい。</li> </ul>			
(ご意見を踏まえた今後の方向性)			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・広報うとに連載中の「うと学だより」や「宇土市デジタルミュージアム」、「うと学研究」の刊行、古文書講座の開催等を通じて、宇土の文化財や歴史資料に関する情報を積極的に発信する。</li> <li>・市史編纂事業等で収集した歴史的・文化的に価値のある資料を、市民が気軽に活用できる場所として「うと学資料室」を改めて周知するとともに、利用しやすい環境づくりを整える。また、新庁舎建設後の現教育委員会庁舎の活用についても検討を進める。</li> </ul>			
教育委員会としての今後の方向性	拡 充 ・ 維 持 ・ 要 改 善 ・ 廃 止		

※評価判定

- 拡 充 … 事業規模・内容を、より拡大・充実し継続すべき事務事業
- 維 持 … 概ね現在の方向性・規模のまま継続すべき事務事業
- 要改善 … 現在の方向性を見直し、規模・手法等について改善を図るべき事務事業
- 廃 止 … 事業目的・活動内容等が、効率的・効果的でない事務事業

令和2年度 宇土市教育委員会事務事業点検・評価シート

事業名	図書館蔵書充実事業	担当課	図書館
事業目的	市民の知識・学習の拠点として、図書館蔵書の充実を図ることにより、市民サービスの向上を目指す。		
事業内容	年間を通じ図書資料の購入を行い、図書館蔵書及び図書館サービスの充実を図る。		
元年度の進捗状況	令和元年度の図書購入費は415万円、購入冊数は2,325冊。		
課題・問題点	所蔵図書の劣化が進んでおり、古い情報書も多く、買い替えをするための予算確保が課題である。また、市民の読書ニーズに応じた適切な図書購入を行う必要がある。		
予算額・決算額	R1予算額 4,250千円	R1決算額	4,153千円
担当課 自己評価	予算の範囲内で図書の購入・充実はできているが、他市町村の予算額に比べても低い状況にあるため、今後予算要求をする必要がある。また、より多くの市民に利用していただくよう、時流をとらえた資料やニーズの高い資料を揃えていく必要がある。		
(外部評価委員からいただいたご意見)			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・蔵書の充実を期待します。</li> <li>・時流を捉えた資料やニーズの高い資料を充実にしてほしい。</li> <li>・蔵書の充実予算が他市町村に比べて少ないとのことだったので、充実が望ましい。</li> </ul>			
(ご意見を踏まえた今後の方向性)			
<p>蔵書スペースが限られているため配架できる図書数に限りがあるが、その分、時流を捉えた図書の購入やニーズの把握、情報収集に努め内容の充実を図っていく必要があると考えている。</p> <p>今後も、図書購入に係る予算の確保に努め、蔵書の量・質ともに充実を図る。</p>			
教育委員会としての今後の方向性	拡 充 ・ 維 持 ・ 要 改 善 ・ 廃 止		

※評価判定

- 拡 充 … 事業規模・内容を、より拡大・充実に継続すべき事務事業
- 維 持 … 概ね現在の方向性・規模のまま継続すべき事務事業
- 要改善 … 現在の方向性を見直し、規模・手法等について改善を図るべき事務事業
- 廃 止 … 事業目的・活動内容等が、効率的・効果的でない事務事業

令和2年度 宇土市教育委員会事務事業点検・評価シート

事業名	給食センター施設整備事業	担当課	給食センター
事業目的	施設整備の点検を行い、年次計画的に優先度を決め、衛生管理の徹底や給食業務の充実を図るため、施設整備を行う。		
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アレルギー対応室改修工事</li> <li>・調理室空調設備工事</li> <li>・アレルギー対応室厨房機器一式購入</li> <li>・スポットエアコン(移動式)購入</li> </ul>		
元年度の進捗状況	アレルギー対応のための改修工事や、夏場の調理作業の改善のための空調設備工事・スポットエアコンの購入など、予定どおり実施。		
課題・問題点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設は築年数41年を経過し、老朽化が進んでおり継続して使用するには、更なる整備が必要である。</li> <li>・設備も使用頻度が多く、損傷や破損が出ている。</li> </ul>		
予算額・決算額	R1 予算額 20,707千円	R1 決算額	17,425千円
担当課 自己評価	令和元度はアレルギー対応室改修工事が完了し、除去食の対応が開始できた。また、調理室の空調設備の整備等を行い、夏場の作業環境の改善へ繋げることができた。今後も現施設をできる限り継続使用できるように整備を行っていきたい。		
(外部評価委員からいただいたご意見)			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・年次計画に基づき実施してほしい。</li> <li>・現施設の老朽化が進んでいるようだが、新給食センター建設の見通しはあるのか。</li> </ul>			
(ご意見を踏まえた今後の方向性)			
施設整備については、優先度を考慮し、年次的に進めていく。また、現施設は老朽化はしているが、耐震化は図られており、当面は現施設を継続して使用する予定。なお、今後、建て替えを検討する際には、児童生徒数の変動等を考慮し、また民間資本の活用も視野に入れた建設計画を想定している。			
教育委員会としての今後の方向性	拡 充 ・ <u>維 持</u> ・ 要 改 善 ・ 廃 止		

※評価判定

- 拡 充 … 事業規模・内容を、より拡大・充実し継続すべき事務事業
- 維 持 … 概ね現在の方向性・規模のまま継続すべき事務事業
- 要改善 … 現在の方向性を見直し、規模・手法等について改善を図るべき事務事業
- 廃 止 … 事業目的・活動内容等が、効率的・効果的でない事務事業

令和2年度 宇土市教育委員会事務事業点検・評価シート

事業名	地域教育力活性化事業	担当課	中央公民館
事業目的	<p>少子高齢化、情報社会の進展等、子供を取り巻く地域の新たな教育課題に対し、地域において人間性豊かな子供を育てる環境を充実させるため、地区公民館を軸として地域の人的物的教育資源等を活用しながら、週末等に様々な体験活動を実施し、地域教育力の活性化を図る。</p>		
事業内容	<p>・地区公民館で地域住民の協力のもと、異なる年齢の子供たちによる遊びや体験活動を通じ、自主性・創造性育む。                  ・地域住民と子供たちとの世代間のふれあい交流体験活動を通じ、「地域の子供は地域で育てる」気風を育てる。</p>		
元年度の進捗状況	<p>・子供地域活動(青空教室)・・・7地区公民館で芋の苗植え、収穫等の農業体験、竹細工、昔遊び、料理教室、環境学習、施設見学、読み聞かせ等を実施。計47回 延2,393人(内支援者1,023人)                  ※公民館子供まつり開催。4地区(宇土・轟:グラウンドゴルフ、走潟・緑川:マテ貝掘り)                  ・通学合宿(3泊4日)の実施。3地区(網津、緑川、走潟)、児童の参加55人</p>		
課題・問題点	<p>各公民館では、活動内容がマンネリ化しないよう、要望を聞いたり情報を集める等の工夫を試みている。しかし、屋外活動や移動を伴う学習等の際、人数や交通手段等、安全面や管理面において不安が残る。楽しい活動にするためにも協力者をどうするか等、協議しながら進める必要がある。</p>		
予算額・決算額	R1予算額 814千円	R1決算額	532千円
担当課自己評価	<p>少子高齢・情報化社会の進展、さらにスポーツクラブや習い事等、子供たち(特に高学年)はいつも忙しくしている。地区によって参加児童の年齢層、数は違うが、異なる年齢、世代を超えた交流は、遊びや体験活動に加えて人間性豊かな子供を育てるための重要な柱となる。地域そのものの絆が薄れている中、子どもを中心とした地域活動は、ますます重要になる。しかしながら、教室によっては参加が当初の見込みより少ないものもあったため、今後は保護者参加型活動も考えてもよいのではないかと考える。</p>		
(外部評価委員からいただいたご意見)			
<p>・地域教育力を高めることは大切だと考える。                  ・保護者参加型の活動は良いことだと思う。                  ・より充実した取組が大切だと考える。公民館活動と学校との連携より充実することが大切である。</p>			
(ご意見を踏まえた今後の方向性)			
<p>本事業での多様な体験活動を通じ、子供たちは地域の様々な世代の人々と交流することができ、豊かな人間性を育むことができている。                  今後も本事業を継続していくためには、地域の協力が引き続き必要であり、地域の社会教育団体や各種団体からの支援体制の確保が不可欠であると考えている。特に学校との円滑な連携を図ることが本事業においては重要であり、日頃から地域や学校との交流や情報交換を行っていく。                  また、子供たちだけでなく、保護者にも参加を呼びかけ、より充実した内容となるよう努める。</p>			
教育委員会としての今後の方向性	<p>拡 充 ・ 維 持 ・ 要 改 善 ・ 廃 止</p>		

※評価判定

拡 充 … 事業規模・内容を、より拡大・充実し継続すべき事務事業

維 持 … 概ね現在の方向性・規模のまま継続すべき事務事業

要改善 … 現在の方向性を見直し、規模・手法等について改善を図るべき事務事業

廃 止 … 事業目的・活動内容等が、効率的・効果的でない事務事業

### Ⅲ 教育委員会の活動状況

#### 1 委員会議の開催状況

宇土市教育委員会の会議は原則として公開で、毎月1回の定例会のほか、必要に応じ臨時会を開催しています。

この会議において、教育長と教育委員が教育行政の運営の基本方針や教育委員会の規則の制定改廃など、会議において議決を要する事項について審議・決定を行うとともに、重要事項について事務局から報告を受けています。

令和元年度の教育委員会会議の開催状況は次のとおりです。

期日	場所	付議事件
平成31年4月11日 (定例会)	教育委員会 2階会議室	<p>(議決事項)</p> <p>専決処分の報告及び承認を求めることについて 学校給食センター給食物資納入指定者の選定について</p> <p>専決処分の報告及び承認を求めることについて 宇土市特別支援教育相談員の委嘱について</p> <p>専決処分の報告及び承認を求めることについて 特別支援学級への就学及び転籍について</p> <p>宇土市招致外国青年任用規則の一部を改正する規則について</p> <p>平成31年度宇土市学校教育努力目標について</p> <p>平成31年度宇土市幼稚園教育努力目標について</p> <p>平成31年度宇土市生涯学習努力目標について</p> <p>平成31年度宇土市人権教育推進努力目標について</p> <p>平成31年度宇土市文化振興努力目標について</p> <p>平成31年度宇土市立図書館努力目標について</p> <p>平成31年度宇土市社会体育努力目標について</p> <p>平成31年度宇土市学校給食センター努力目標について</p> <p>平成31年度宇土市立小中学校教務主任等の任命について</p> <p>平成31年度学校評議員の委嘱について</p> <p>平成31年度幼稚園評議員の委嘱について</p> <p>宇土市轟泉水道及び旧高月邸保存活用検討委員会委員の委嘱について</p> <p>教育功労者の表彰について</p> <p>スポーツ功労者の表彰について</p> <p>平成31年度宇土市入学準備祝金採用者の選考について</p>
令和元年5月10日 (定例会)	教育委員会 2階会議室	<p>(議決事項)</p> <p>学校運営協議会の指定及び学校運営協議会委員の任命について (花園小)</p> <p>学校運営協議会の指定及び学校運営協議会委員の任命について (走潟小)</p> <p>学校運営協議会の指定及び学校運営協議会委員の任命について (緑川小)</p> <p>学校運営協議会の指定及び学校運営協議会委員の任命について (網津小)</p> <p>学校運営協議会の指定及び学校運営協議会委員の任命について (住吉中)</p>



		<p>学校運営協議会の指定及び学校運営協議会委員の任命について（網田小・網田中）</p> <p>宇土市都市公園条例の一部を改正する条例について</p> <p>宇土市社会教育委員の委嘱について</p> <p>宇土市公民館運営審議会委員の委嘱について</p> <p>宇土市立図書館協議会委員の任命について</p> <p>令和元年度宇土市一般会計補正予算について</p>
令和元年6月10日 （定例会）	教育委員会 2階会議室	<p>（議決事項）</p> <p>花園幼稚園改築工事（本体工事）請負契約の締結について</p> <p>宇土市教育支援委員会委員の委嘱について</p> <p>宇土市スポーツ推進審議会委員の委嘱について</p> <p>宇土市学校給食センター運営委員会委員の委嘱について</p> <p>宇土市学校給食センター専門委員会委員の委嘱について</p> <p>宇土市立小・中学校遠距離通学費の支給に関する規則の一部を改正する規則について</p>
令和元年7月10日 （定例会）	教育委員会 2階会議室	<p>（議決事項）</p> <p>宇土市外部評価委員会委員の委嘱について</p>
令和元年8月13日 （定例会）	教育委員会 2階会議室	<p>（議決事項）</p> <p>宇土市幼稚園条例の一部を改正する条例について</p> <p>宇土市立幼稚園一時預かり保育条例の一部を改正する条例について</p> <p>令和2年度使用宇土市立小学校教科用図書の採択について</p> <p>専決処分の報告及び承認を求めることについて</p> <p>宇土市学校給食専門委員会委員の委嘱について</p> <p>宇土市公民館条例の一部を改正する条例について</p> <p>宇土市いじめ防止等対策委員会委員の委嘱について</p> <p>令和元年度宇土市一般会計補正予算について</p>
令和元年9月13日 （定例会）	教育委員会 2階会議室	<p>（議決事項）</p> <p>専決処分の報告及び承認を求めることについて</p> <p>特別支援学級への就学及び転籍について</p> <p>特別支援学級への就学及び転籍について</p> <p>宇土市立幼稚園一時預かり保育条例施行規則の一部を改正する規則について</p> <p>宇土市立幼稚園の保育料減免に関する規則を廃止する規則について</p> <p>宇土市教育委員会の教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価の結果について</p> <p>宇土市食物アレルギー対応委員会委員の委嘱について</p> <p>宇土市歴史的資料保存活用事業運営委員会委員の委嘱について</p>
令和元年9月27日 （臨時会）	教育委員会 2階会議室	<p>職員の処分について</p>

令和元年10月16日 (定例会)	教育委員会 2階会議室	(議決事項) 専決処分の報告及び承認を求めることについて 特別支援学級への転籍について 専決処分の報告及び承認を求めることについて 宇土市学校給食専門委員会委員の委嘱について 専決処分の報告及び承認を求めることについて 宇土市食物アレルギー対応委員の委嘱について 特別支援学級への就学及び転籍について 令和元年度宇土市立学校薬剤師の委嘱について
令和元年11月11日 (定例会)	教育委員会 2階会議室	(議決事項) 宇土市立幼稚園一時預かり保育条例の一部を改正する条例について 宇土市立幼稚園一時預かり保育条例施行規則の一部を改正する規則について 宇土市立幼稚園運営規則の一部を改正する規則について 宇土市入学準備祝金給付基金条例の一部を改正する条例について 令和元年度宇土市一般会計補正予算について
令和元年12月11日 (定例会)	教育委員会 2階会議室	(議決事項) 宇土市立幼稚園一時預かり保育条例施行規則の一部を改正する規則について 宇土市入学準備祝金給付基金条例施行規則の一部を改正する規則について 特別支援学校及び学級への就学及び転籍について
令和2年1月10日 (定例会)	教育委員会 2階会議室	(議決事項) 宇土市立幼稚園規則の一部を改正する規則について 専決処分の報告及び承認を求めることについて 宇土市学校給食専門委員会委員の委嘱について 宇土市立幼稚園一時預かり保育条例施行規則等の一部を改正する規則について 特別支援学校及び学級への就学及び転籍について
令和2年2月10日 (定例会)	教育委員会 2階会議室	(議決事項) 児童・生徒の表彰について 宇土市教育支援委員会設置条例の一部を改正する条例について 武家屋敷(旧高月邸) 条例について 宇土市中心の教室相談員設置規則の一部を改正する規則について 宇土市社会教育指導員設置規則の一部を改正する規則について 宇土市青少年センター設置規則の一部を改正する規則について 宇土市公民館指導員設置規則の一部を改正する規則について 令和元年度宇土市一般会計補正予算について 令和元年度宇土市入学準備祝金特別会計補正予算について
令和2年3月10日 (定例会)	教育委員会 2階会議室	(議決事項) 専決処分の報告及び承認を求めることについて

		花園幼稚園改築工事（本体工事）請負契約の変更契約の締結について 宇土市学校教育指導員設置規則を廃止する規則について 宇土市特別支援教育相談員設置規則を廃止する規則について 宇土市教育委員会教育長に対する事務委任規則の一部を改正する規則について 特別支援学級への就学及び転籍について 令和2年度宇土市立学校内科医，眼科医，耳鼻科医，歯科医及び薬剤師の委嘱について 令和2年度学校産業医の委嘱について 宇土市重要遺跡保存活用検討委員会委員の委嘱について 宇土市文化財保護審議会委員の委嘱について 宇土市網田焼の里資料館運営委員会委員の委嘱について 史跡宇土城跡保存整備検討委員会委員の委嘱について 令和2年度宇土市一般会計予算について 令和2年度宇土市入学準備祝金給付基金特別会計予算について 宇土市教育委員会事務局組織規則の一部を改正する規則について
--	--	---

## 2 総合教育会議

期日	場所	協議事項等
令和2年2月5日	市役所仮設庁舎 2階来賓室	（協議事項） 学校施設の老朽化及び教室の不足について 宇土市の特別支援教育について ～現状と課題～

## 3 その他の活動状況

教育委員は、教育委員会の会議に出席するほか、適宜、各種会議、関係行事へ出席をしています。

令和元年度における、その主な活動は次のとおりです。

- ・宇城市町教育委員全員研修会
- ・教育委員行政視察研修
- ・熊本県市町村教育委員大会
- ・学校訪問
- ・各小中学校入学式・卒業式
- ・各幼稚園運動会・各小学校運動会・各中学校体育祭
- ・成人式典
- ・学校給食試食会
- ・その他各種イベント事業への出席

※令和2年の新型コロナウイルス感染症の影響により、中止となった行事もあります。

## 【宇土市教育委員会委員名簿】

(令和2年10月1日現在)

職 名	氏 名	任 期
教 育 長	おおた やすゆき 太田 耕幸	平成30. 10. 1～令和3. 9. 30
委員長職務代理者	こんどう おさむ 近藤 修	令和2. 10. 1～令和6. 9. 30
委 員	そのだ ひろこ 園田 寛子	平成29. 10. 15～令和3. 9. 30
委 員	あくたがわ まなぶ 芥川 学	平成30. 10. 1～令和4. 9. 30
委 員	しらい まさはる 白井 正晴	令和元. 10. 1～令和5. 9. 30